

2007年9月中間期 決算説明会

2007年11月8日(木)

ALPS電気株式会社

美しい電子部品を究めます

ALPS®

ALPS Group

ALPS
ALPS ELECTRIC CO., LTD.

Electronic Parts & Devices

Established in 1948



ALPINE
ALPINE ELECTRONICS, INC.

Mobile (Car) multimedia

Established in 1967



ALPS LOGISTICS CO., LTD.

Logistics Services

Established in 1964



目次

1. 連結決算概況の報告

2. 電子部品事業の概況

美しい電子部品を究めます

ALPS®

目次

1. 連結決算概況の報告

- 2007年9月中間期業績の報告
- 2008年3月通期業績の予想

美しい電子部品を究めます

ALPS®

2007年9月中間期(連結業績)の概況

■ 業績サマリー

(単位: 億円)

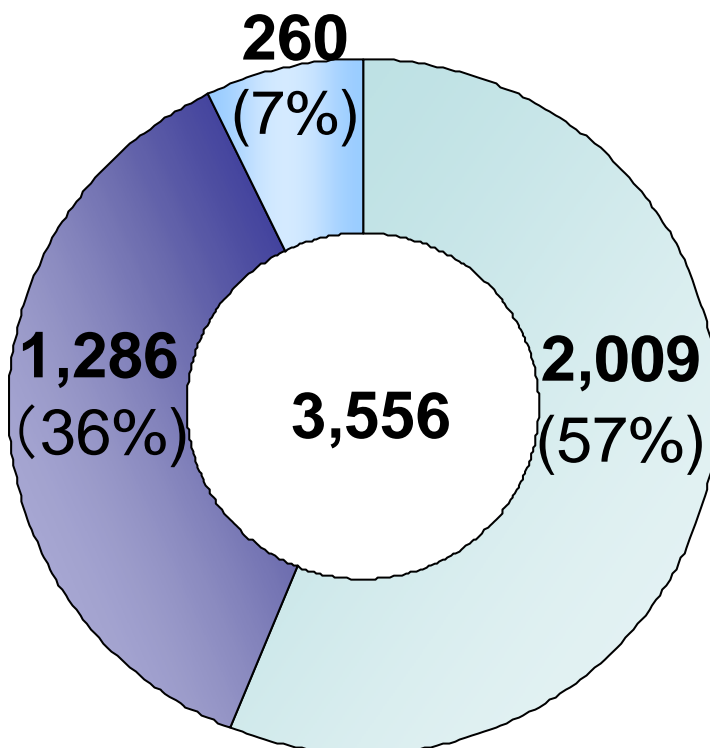
	2006/ 上		2007/ 上		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比 増減率
売 上 高	3,436		3,556		+ 3.5%
営業利益	122	3.6%	131	3.7%	+ 7.4%
経常利益	137	4.0%	112	3.2%	△ 18.2%
当期純利益	54	1.6%	△92	△2.6%	—
フリーキャッシュフロー	△ 119	—	△88	—	—
期中平均 円/USD	115.38		119.33		
為替レート 円/EUR	145.97		162.30		

※フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー ＋ 投資活動によるキャッシュフロー 5

2007年9月中間期(連結業績)の概況

■ 事業別売上高の内訳

(単位：億円)



電子部品事業

ALPS[®]
ALPS ELECTRIC CO., LTD.

売上高 2,009億円(前中間期比 3.4%増)
営業利益 46億円(同 8.9%増)

音響製品事業

ALPINE[®]
ALPINE ELECTRONICS, INC.

売上高 1,286億円(前中間期比 3.3%増)
営業利益 53億円(同 18.1%増)

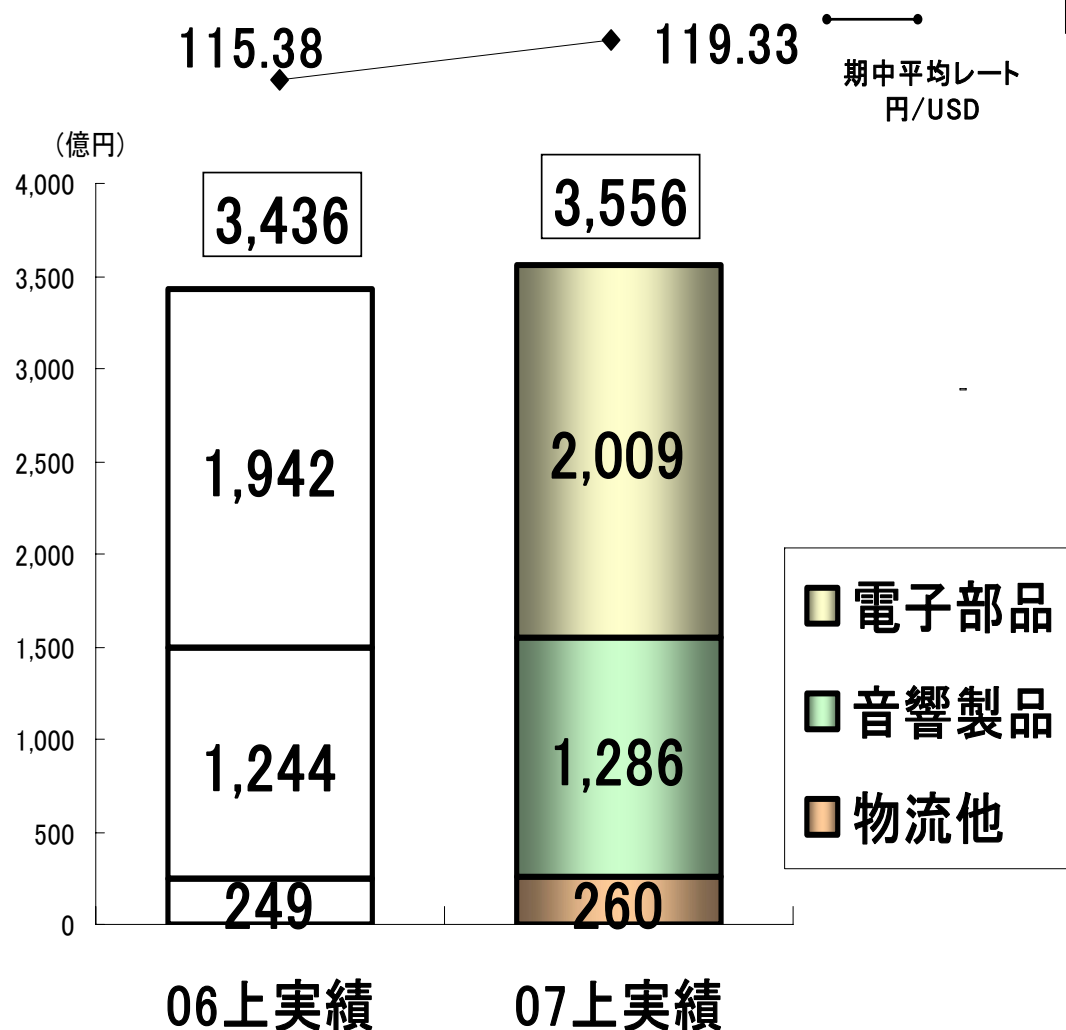
物流事業、他

ALPS
ALPS LOGISTICS CO., LTD.

売上高 260億円(前中間期比 4.4%増)
営業利益 31億円(同 6.6%減)

2007年9月中間期(連結業績)の概況

■ 連結売上高の増減



前中間期比 +119億円

◇為替の影響 + 130億円

- ・米ドル高円安 +34億円
- ・ユーロ高円安 +61億円

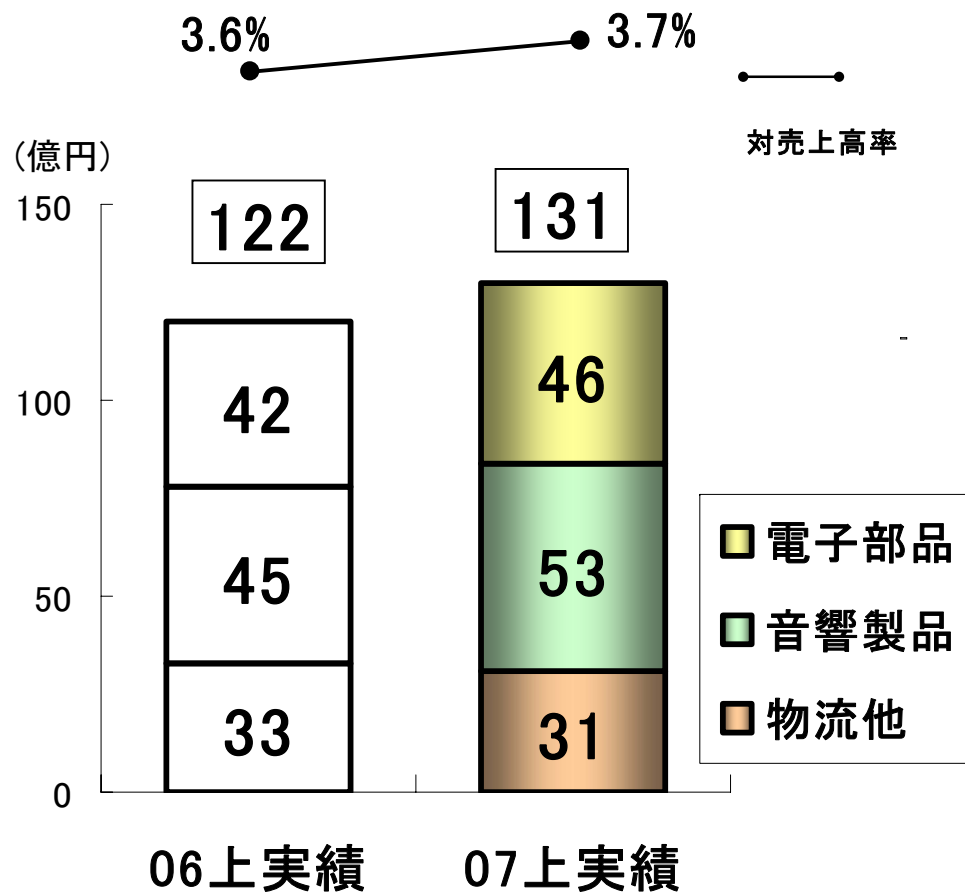
◇為替影響除く △10億円

- ・電子部品の減少 △11億円
- ・音響製品の減少 △10億円
- ・物流・その他の増加 +11億円

2007年9月中間期(連結業績)の概況

■ 連結営業利益の増減

前中間期比 +9億円



◇為替の影響 +27億円

・米ドル高円安 +9億円

・ユーロ高円安 +14億円

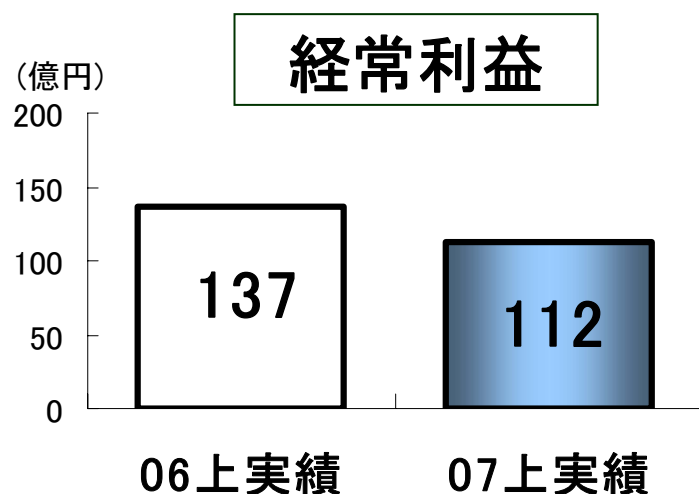
◇為替影響除く △18億円

・電子部品事業における
原価率の上昇等 △13億円

(注)内訳は連結消去前を表示

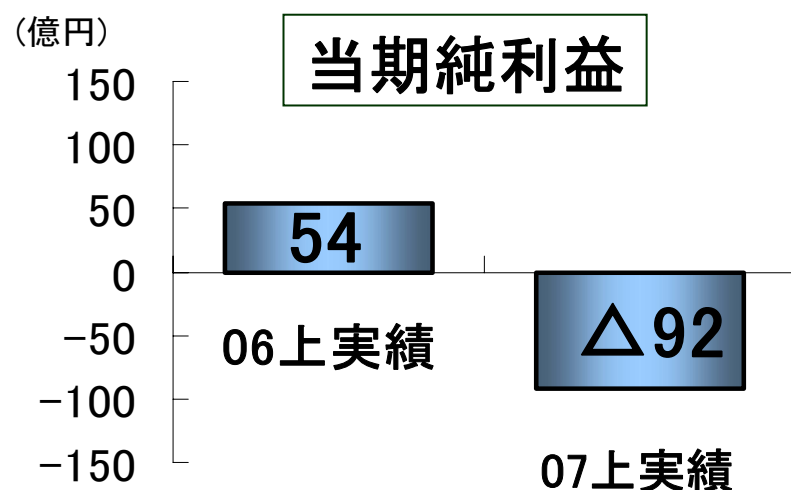
2007年9月中間期(連結業績)の概況

■ 連結経常利益、連結当期純利益の増減



(経常利益) 前中間期比 $\Delta 25$ 億円

- ・営業利益の増加 $+9$ 億円
- ・MR休止資産償却費の計上 $\Delta 6$ 億円
- ・為替差の影響 $\Delta 23$ 億円

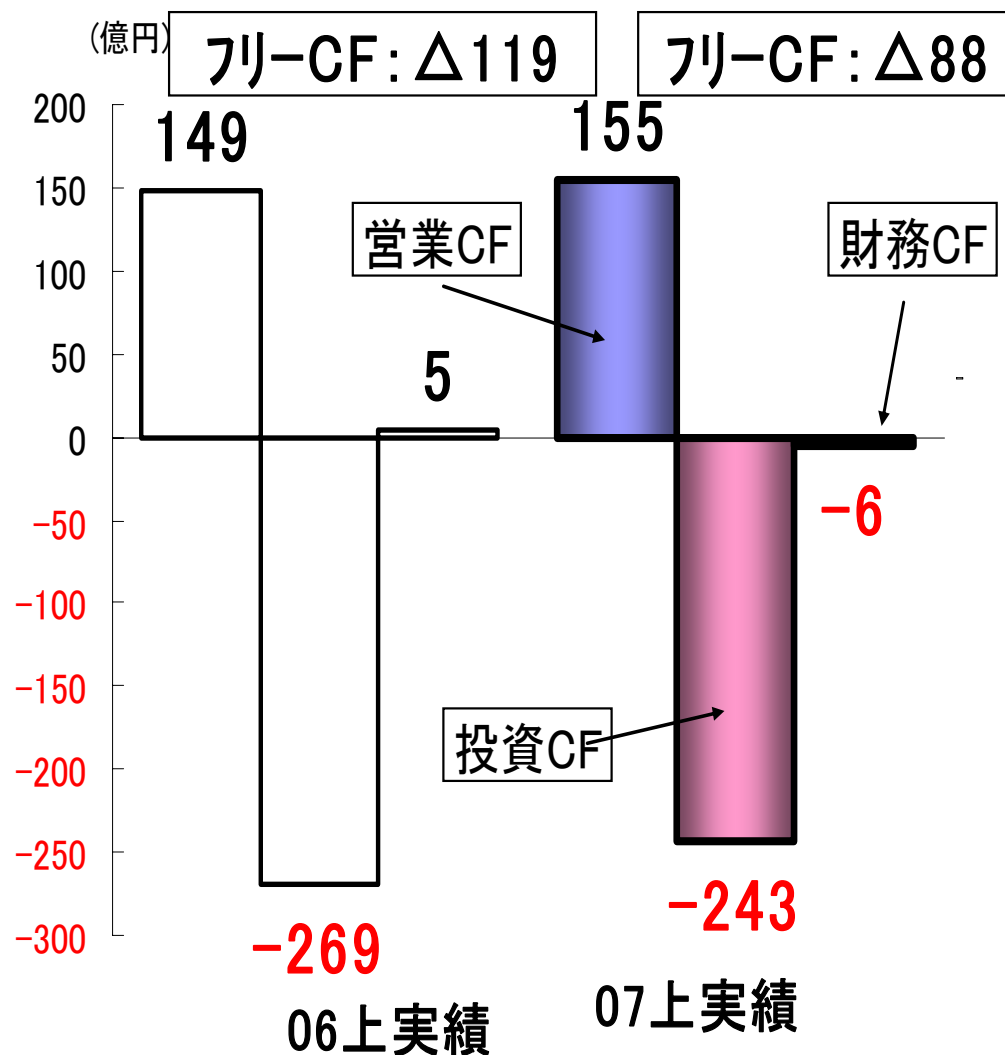


(当期純利益) 前中間期比 $\Delta 147$ 億円

- ・経常利益の減少 $\Delta 25$ 億円
- ・特別損失の増加 $\Delta 187$ 億円
- 固定資産減損損失の増加 $(\Delta 182$ 億円)
- 事業終息関連損失 $(\Delta 6$ 億円)
- ・法人税等調整額等の影響 $+53$ 億円

2007年9月中間期(連結業績)の概況

■ 連結キャッシュ・フロー



◇営業CF +6億円

- ・減損損失、減価償却費の増 +198億円
- ・税金等調整前
中間純利益減少 Δ210億円

◇投資CF +25億円

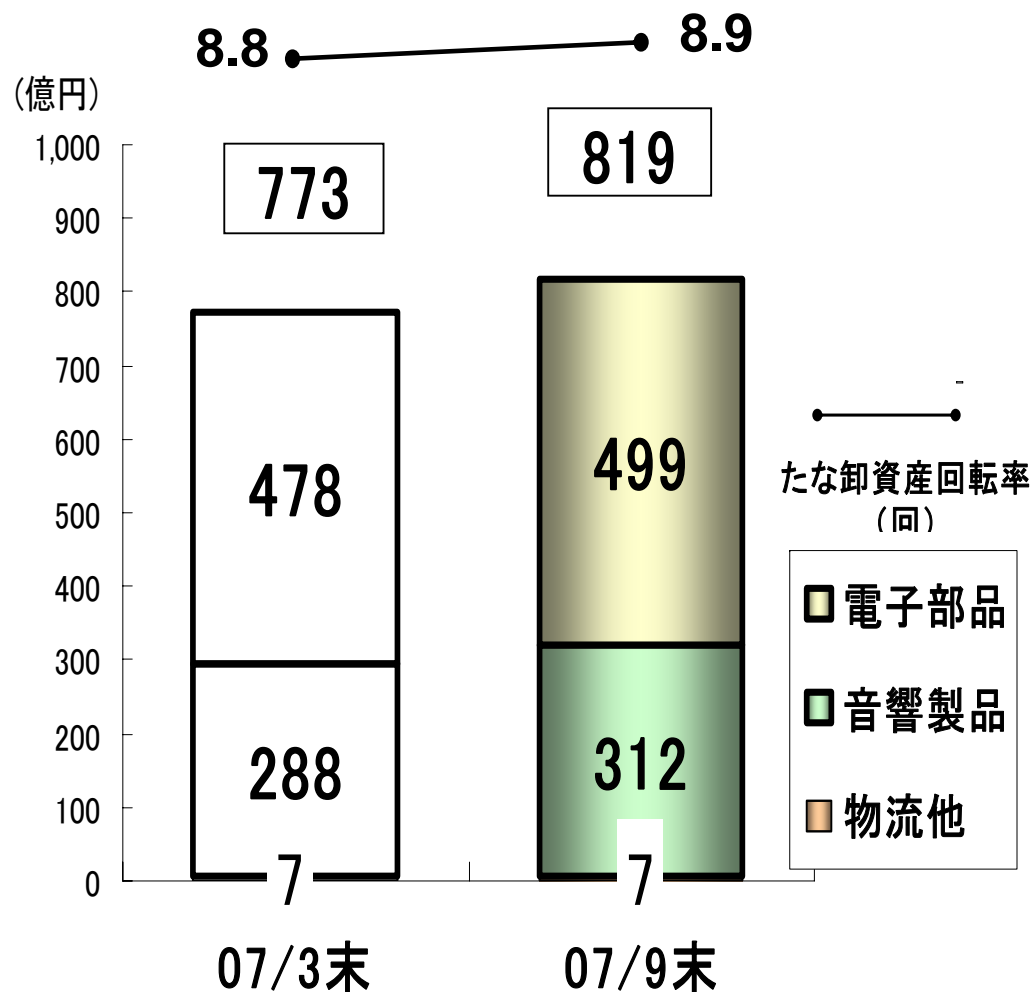
- ・主に固定資産取得減 +40億円

◇財務CF Δ12億円

- ・短期借入金 +118億円
- ・長期借入金 Δ154億円
- ・自己株式の取得減 +30億円

2007年9月中間期(連結業績)の概況

■ 連結たな卸資産の増減



前期末比 +45億円

◇電子部品 +21億円

◇音響製品 +24億円

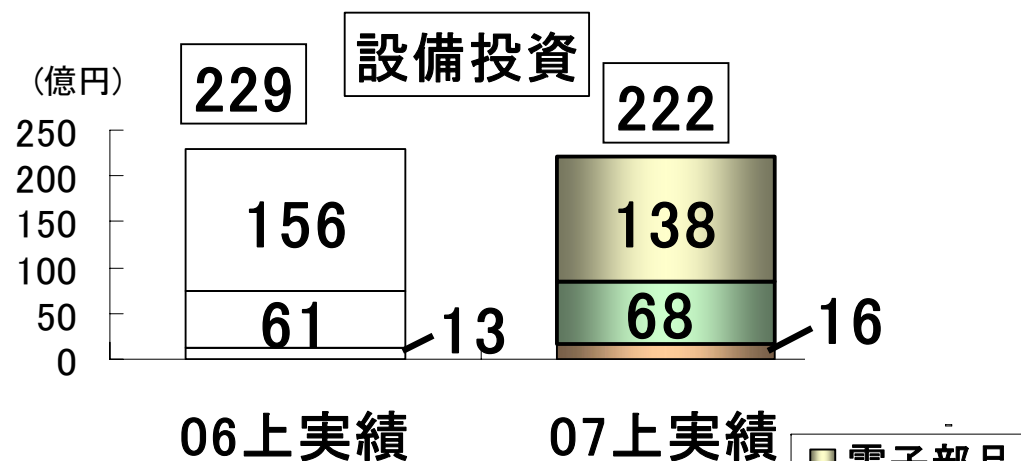
※たな卸資産回転率 07/3 07/9

◇電子部品 7.9 → 8.2

◇音響製品 9.2 → 8.6

2007年9月中間期(連結業績)の概況

■ 連結の設備投資及び減価償却費の増減

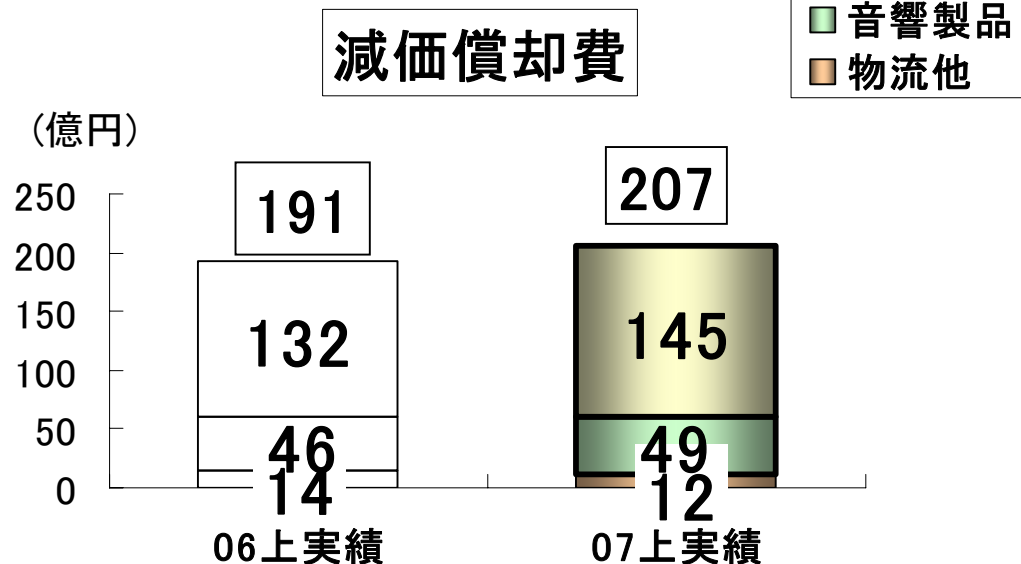


前中間期比△7億円

◇電子部品 △18億円

◇音響製品 + 7億円

◇物流その他 + 3億円



前中間期比+16億円

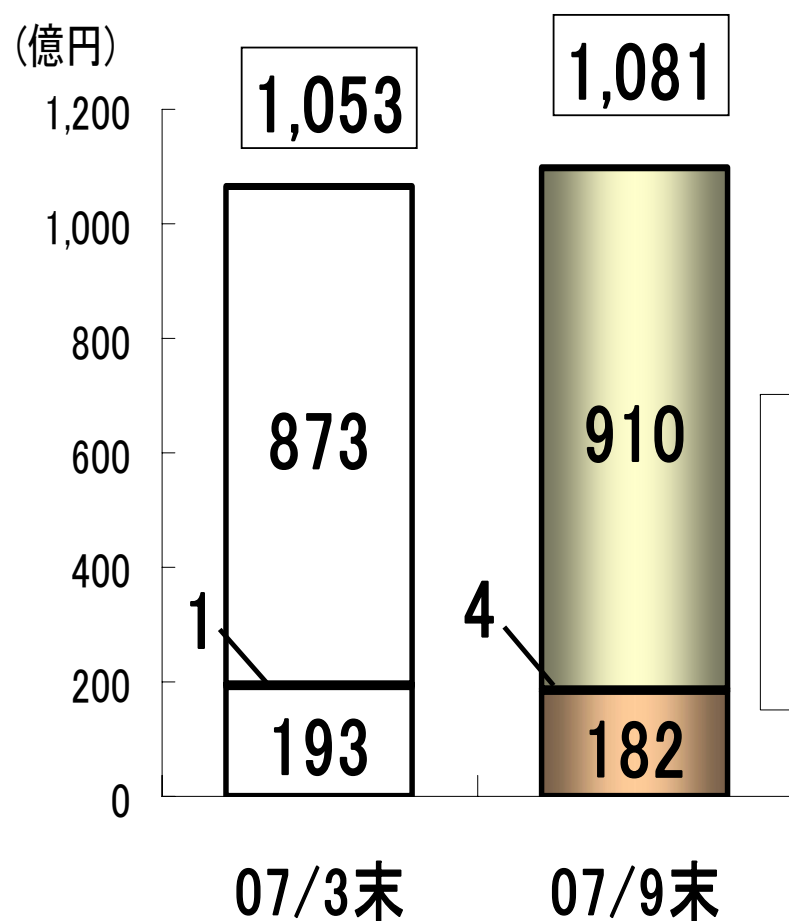
◇電子部品 +13億円

◇音響製品 + 3億円

◇物流その他 △ 2億円

2007年9月中間期(連結業績)の概況

■ 連結有利子負債残高の増減



前期末比 +28億円

◇電子部品 +37億円

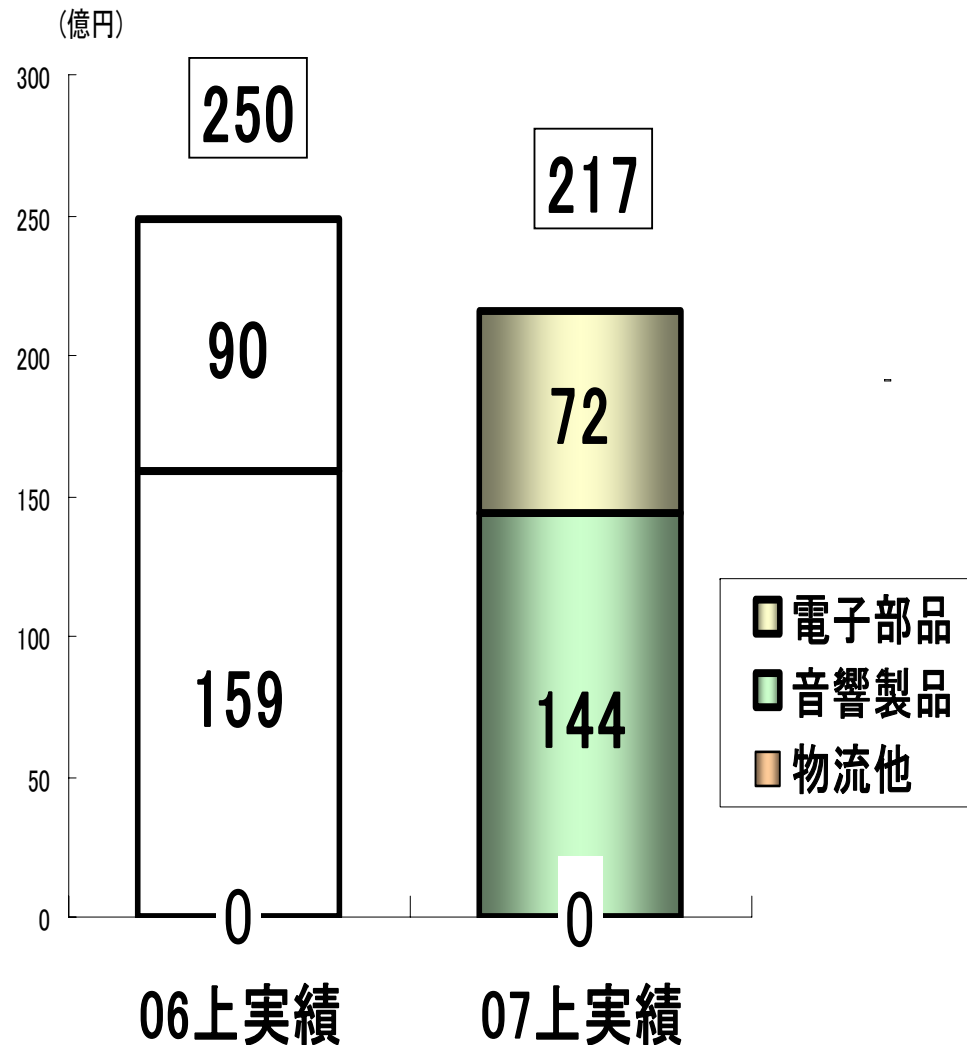
◇物流・その他 △11億円

(注)連結消去 [△15]

[△15]

2007年9月中間期(連結業績)の概況

■ 連結研究開発費の増減



前中間期比 $\Delta 33$ 億円

◇電子部品 $\Delta 18$ 億円

◇音響製品 $\Delta 15$ 億円

目次

1. 連結決算概況の報告

- 2007年9月中間期業績の報告
- 2008年3月通期業績の予想

美しい電子部品を究めます

ALPS®

2008年3月通期(連結業績)の予想

■ 業績サマリー

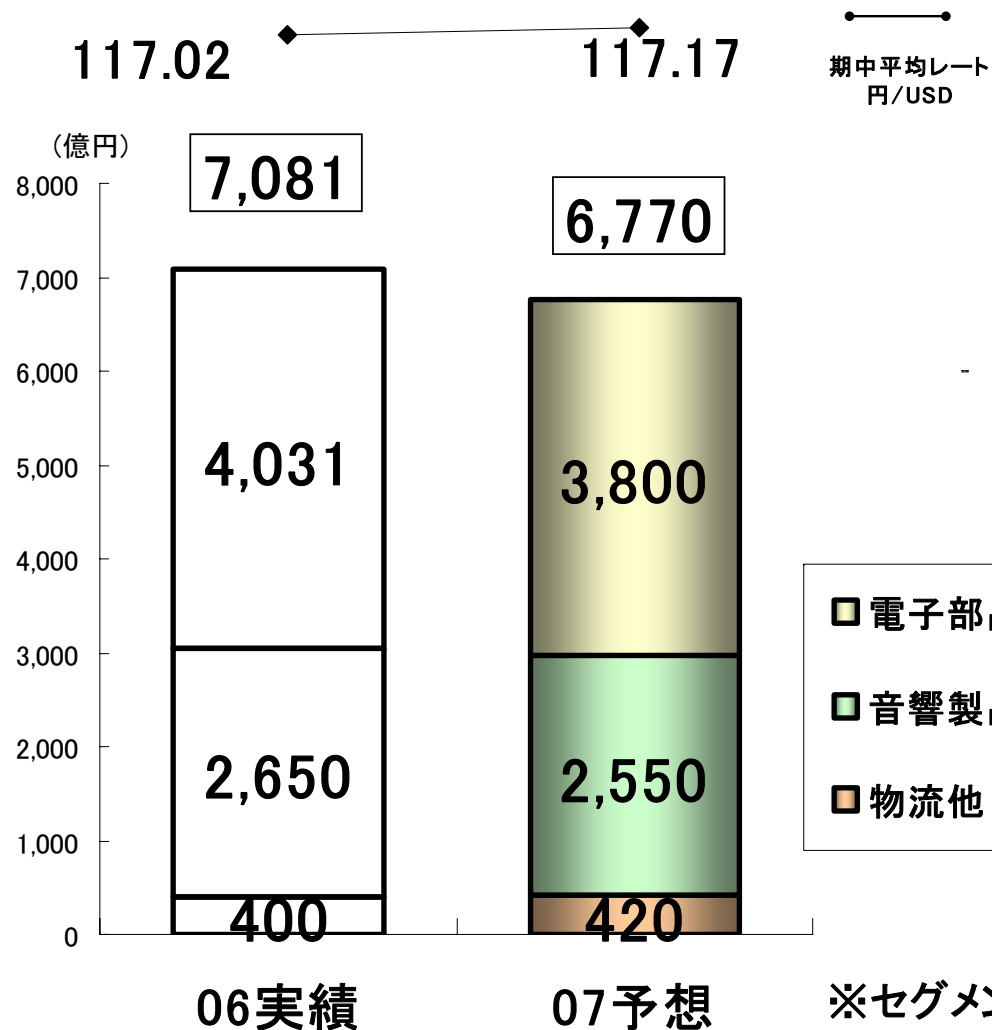
(単位: 億円)

	2007/3		2008/3		
	実績	売上比	予想	売上比	前期比 増減率
売上高	7,081		6,770		△ 4.4%
営業利益	220	3.1%	200	3.0%	△ 9.4%
経常利益	246	3.5%	180	2.7%	△ 26.9%
当期純利益	49	0.7%	120	1.8%	+ 144.0%
フリーキャッシュフロー	57	—	—	—	—
期中平均 円/USD	117.02		117.17		
為替レート 円/EUR	150.09		161.15		

※フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー ＋ 投資活動によるキャッシュフロー

2008年3月通期(連結業績)の予想

■ 連結売上高の増減



前期比 $\Delta 311$ 億円

◇為替の影響 + 87億円

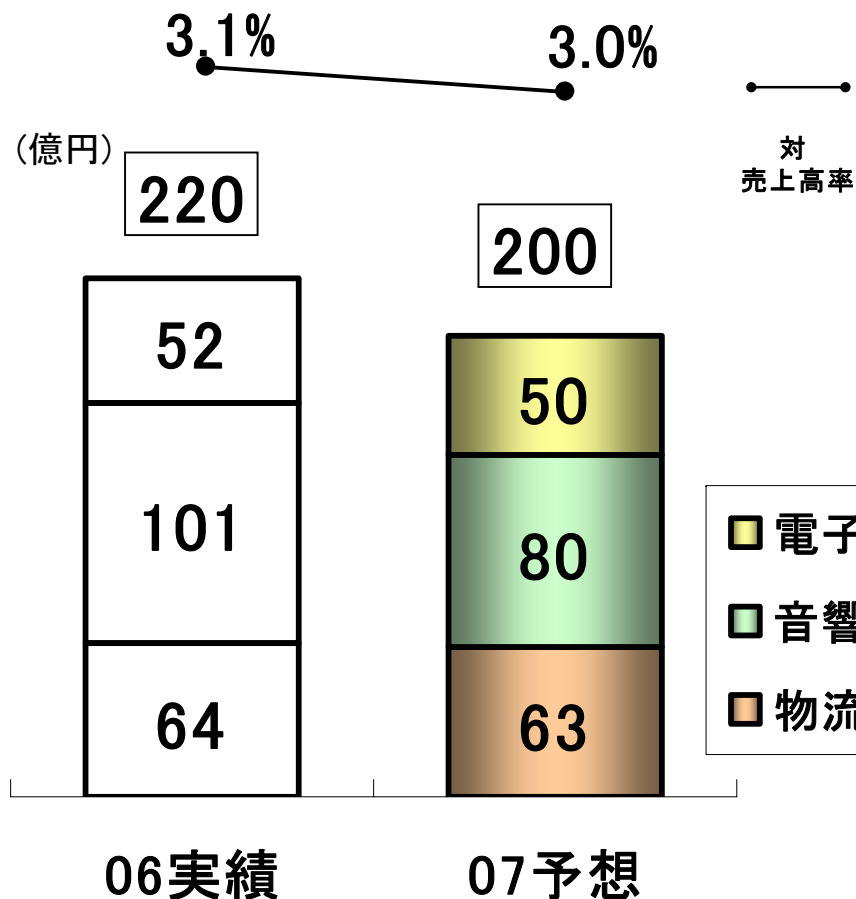
- ・米ドル高円安 + 3億円
- ・ユーロ高円安 + 83億円

◇為替影響除く $\Delta 398$ 億円

- ・電子部品の減少 $\Delta 267$ 億円
- ・音響製品の減少 $\Delta 152$ 億円
- ・物流・その他の減少 + 21億円

2008年3月通期(連結業績)の予想

■ 連結営業利益の増減



前期比 $\Delta 20$ 億円

◇為替の影響 +20億円

- ・米ドル高円安 + Δ 0億円
- ・ユーロ高円安 +19億円

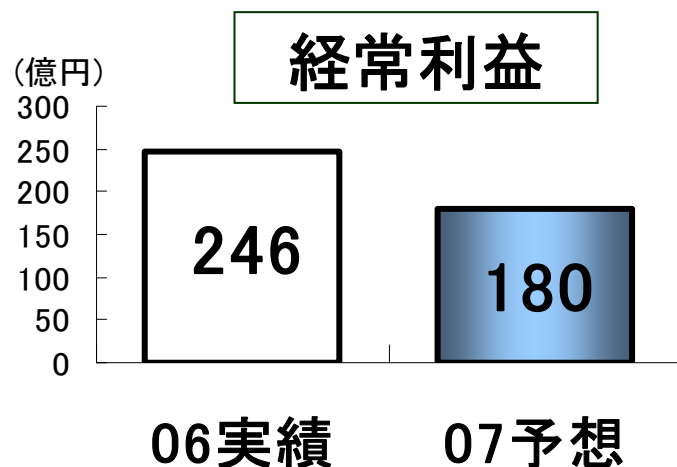
◇為替影響除く $\Delta 41$ 億円

- ・電子部品の減少 $\Delta 12$ 億円
- ・音響製品の減少 $\Delta 31$ 億円
- ・物流・その他の減少 Δ 1億円

(注)内訳は連結消去前を表示

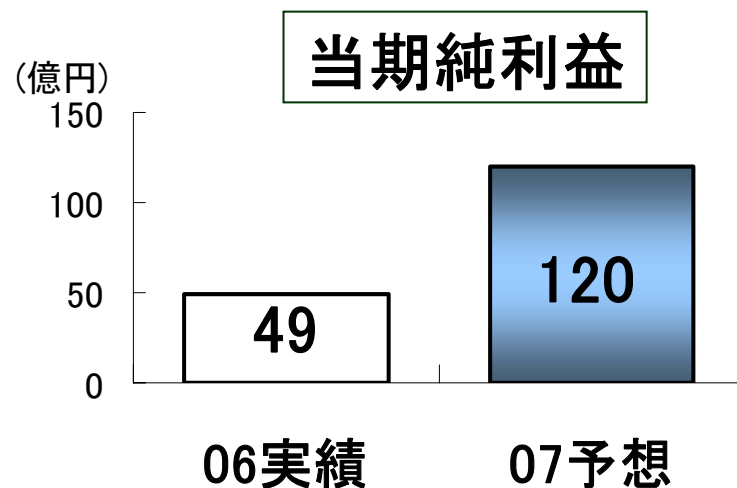
2008年3月通期(連結業績)の予想

■ 連結経常利益、連結当期純利益の増減



(経常利益) 前期比 $\Delta 66$ 億円

- ・営業利益の減少 $\Delta 20$ 億円
- ・為替差の影響 $\Delta 23$ 億円



(当期純利益) 前期比 $+70$ 億円

- ・経常利益の減少 $\Delta 66$ 億円
- ・減損損失の増加 $\Delta 153$ 億円
- ・MR資産売却益(予定) $+286$ 億円

(ご参考) 2008年3月期業績の予想

(ご参考) 為替変動の影響

売上高・営業利益への1円当り影響額

< 連結ベース >

- ・ 売上高 対USD 1.9億円/月
- ・ 営業利益 対USD 0.5億円/月

< 電子部品事業 >

- ・ 売上高 対USD 1.3億円/月
- ・ 営業利益 対USD 0.4億円/月

(注)・2007年9月中間期実績をもとに算出

・USDに連動性の高い他通貨の影響額も上記に含めています

目次

2. 電子部品事業の概況

- 2007年9月中間期実績および
2008年3月通期予想の概況
- 事業別の概況

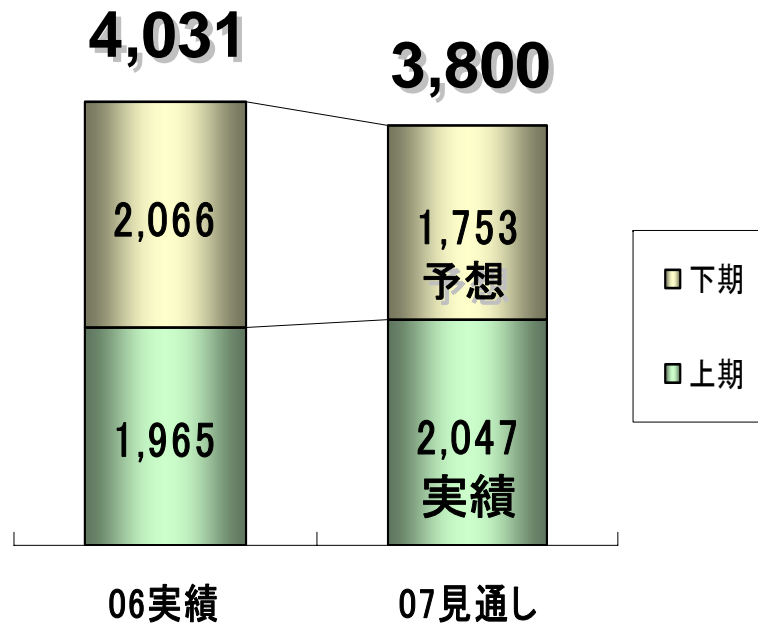
美しい電子部品を究めます

ALPS®

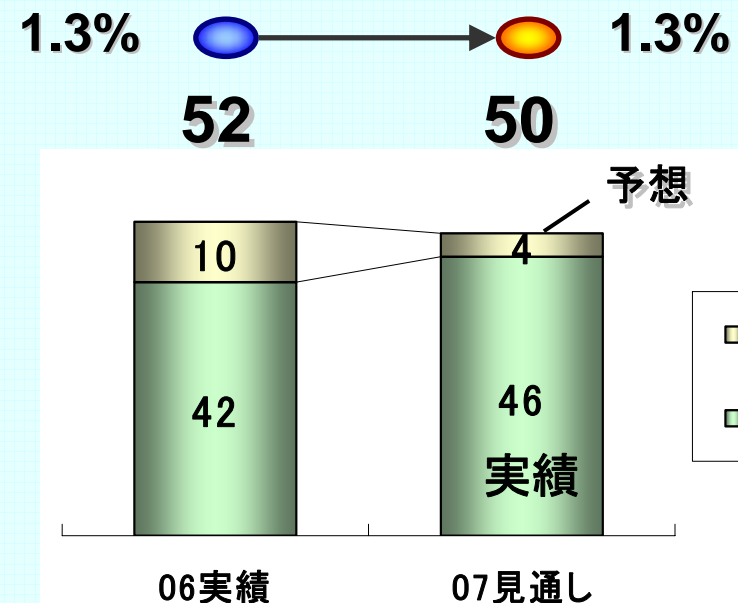
総括

[億円]

売上高



営業利益



(売上高)

磁気デバイス事業の大幅な減少(前期比△406億円)を他の4事業でリカバリー

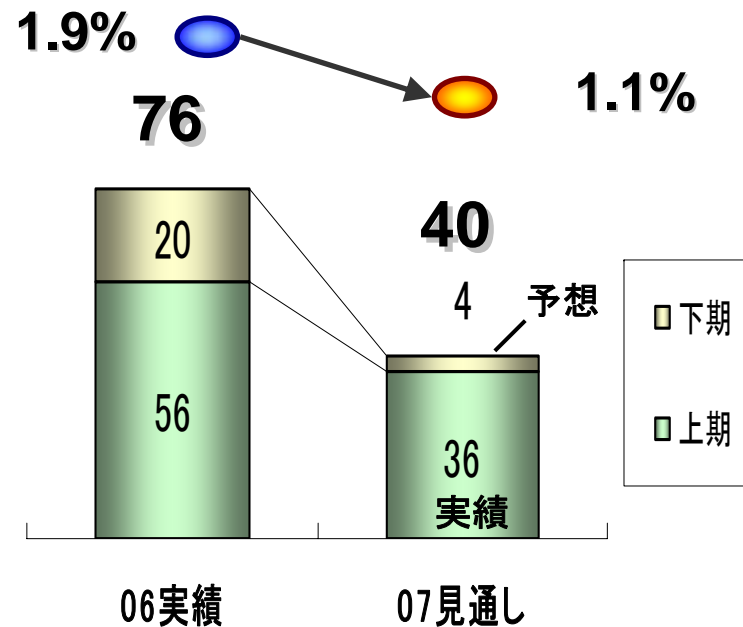
(営業利益)

同事業の規模縮小による営業赤字をコンポーネント事業を主とした他の4事業でリカバリー

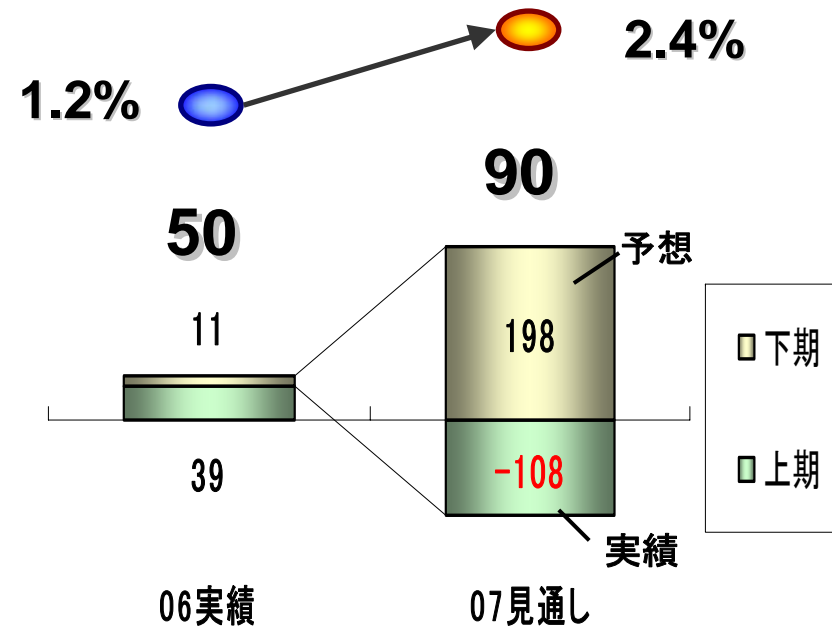
総括

[億円]

経常利益



当期純利益



(当期純利益)

上期－磁気デバイス事業におけるHDD用ヘッド資産等の減損損失(183億円)、及び事業終息に伴う関連損失(6億円)を計上

下期－TDK(株)に対する譲渡契約済資産の引渡し完了を以って売却益(286億円)を計上の予定

(減損損失計上の状況)

当中間期において、以下の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、その減少額を減損損失として特別損失に計上

1. HDD用ヘッド

TDK(株)への資産譲渡に伴う事業終息により、譲渡外の建物・機械装置等(海外含む)に関して163億円の減損損失を計上

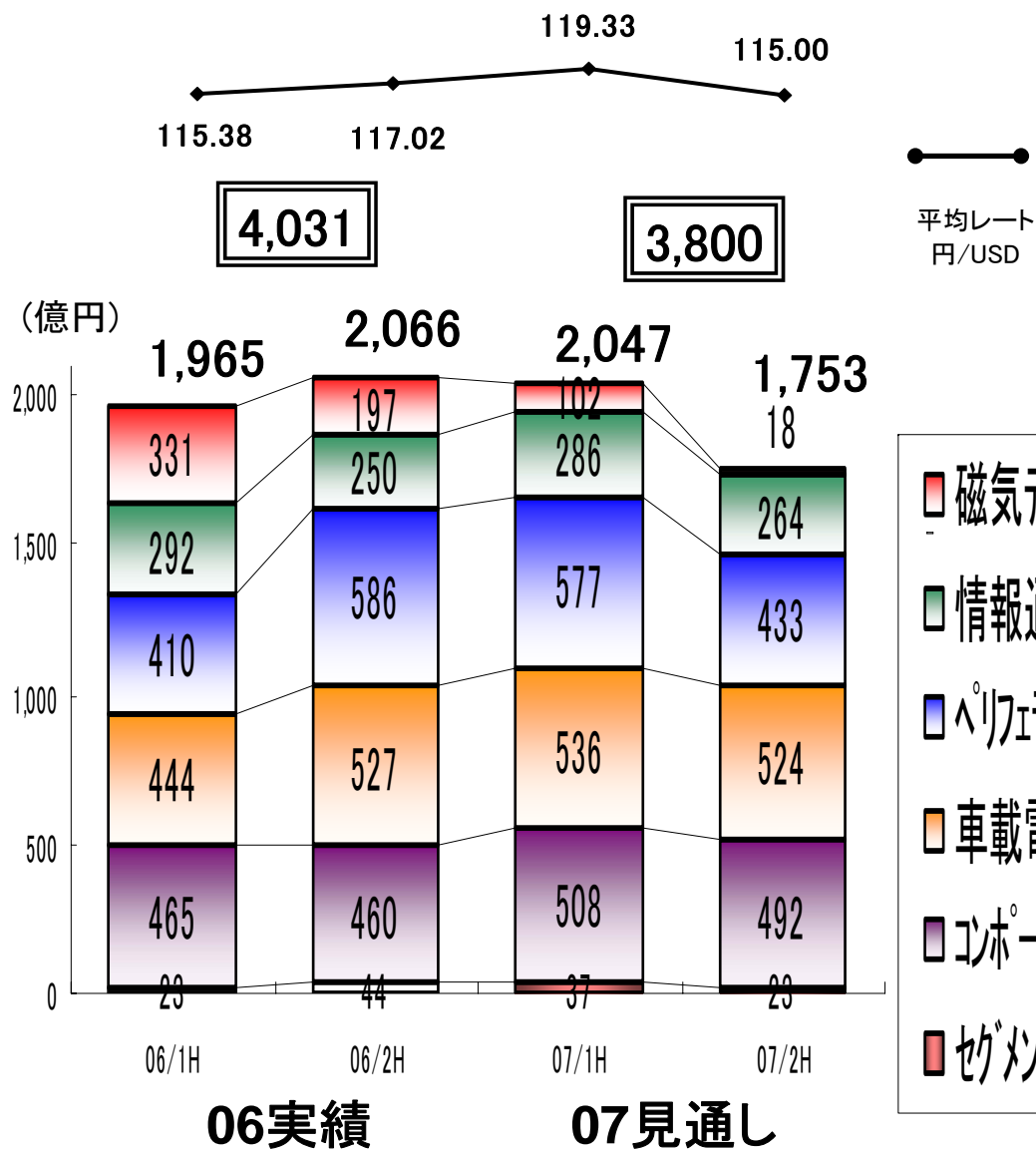
2. アナログ放送系電子部品

主としてTV用チューナの事業環境悪化に伴い、建物・機械装置等(海外含む)に関して17億円の減損損失を計上

3. 液晶表示素子(LCD)

事業環境の悪化に伴い機械装置等に関して1億円の減損損失を計上

(電子部品事業) 売上高の状況

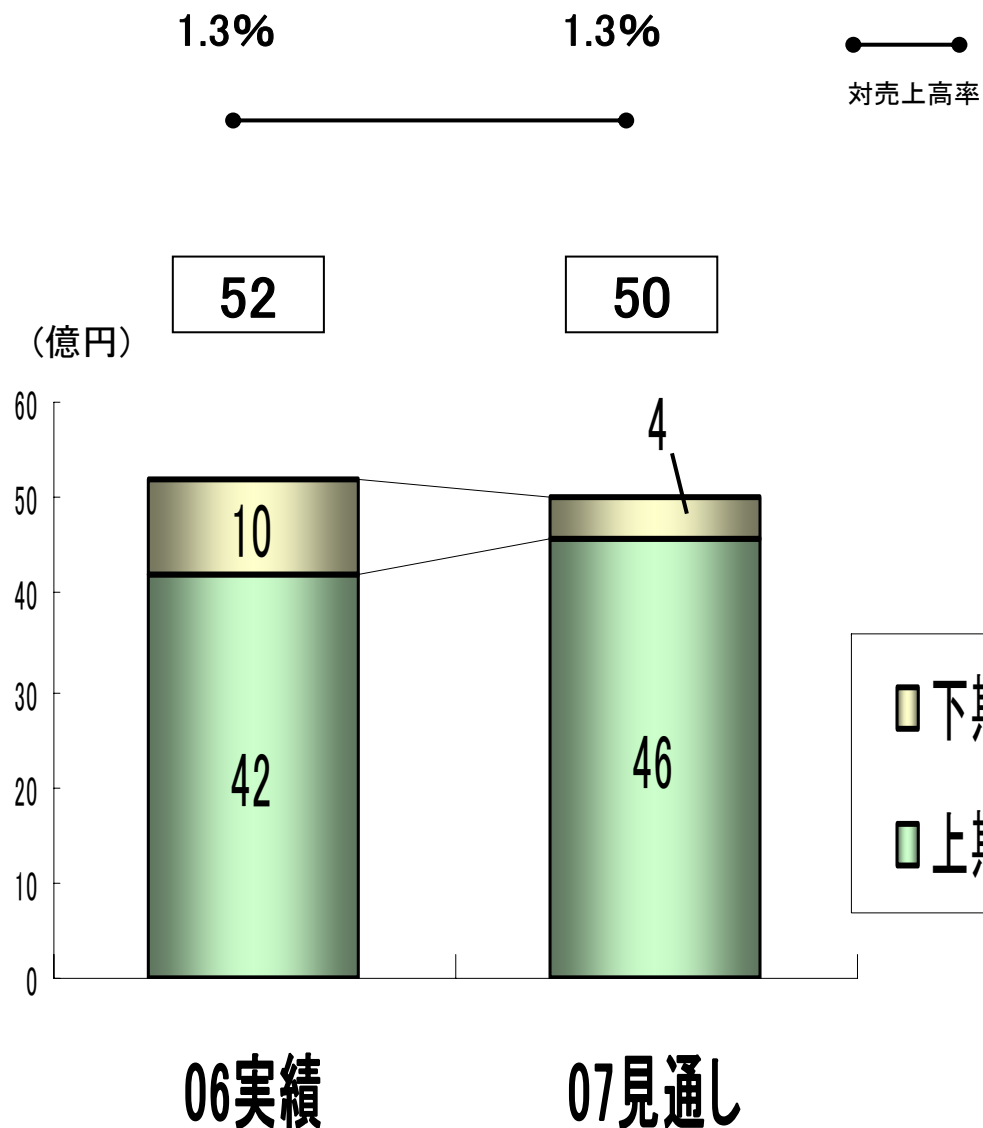


(注)セグメント売上高消去前で表示

主な増減の要因

- ・磁気デバイス事業
HDD用ヘッドの減等
 $\Delta 406$ 億円
- ・情報通信事業
車載用Bluetooth™の増等
+ 8 億円
- ・ペリフェラル事業
入力用デバイスモジュールの増等
+ 13 億円
- ・車載電装事業
前面操作パネルモジュールの増等
+ 89 億円
- ・コンポーネント事業
スイッチ、センサの増等
+ 74 億円

(電子部品事業) 営業利益の状況



(注)連結消去前で表示

前期比 △ 2億円

主な増減の要因

・当初計画では、HDDヘッド事業の終息を上期中と想定 → 下期にずれ込み

終息に伴う関連費用が、上期から下期にずれ込むため、利益計画が逆転

(当初計画 上期 0、下期 50億円)。

(電子部品事業) 2008年3月通期予想

【2007年11月8日現在】

5/7 公表値比

● 売上高	3,800億円	+100億円
● 営業利益(率)	50億円(1.3%)	———

前提となる下期為替レート 115円/USD、160円/EUR

【投資計画】

- ・設備投資 : 266億円 (5/7公表値比 △22億円)
- ・研究開発費: 149億円 (5/7公表値比 + 3億円)

目次

2. 電子部品事業の概況

- 2007年9月中間期実績および
2008年3月通期予想の概況
- 事業別の概況

美しい電子部品を究めます

ALPS®

2008年3月期の見通し

■コンポーネント事業

売上高 1,000億円(計画比 99%)

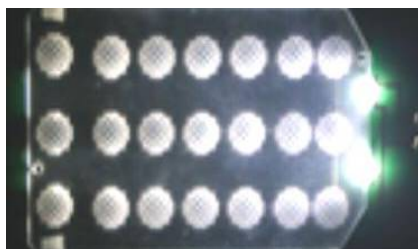
＜重点戦略＞

■新商品の仕込と事業化のスピードアップ

[販売] シェアアップと商品構造改革

[開発] DMの充実と要素技術の深耕で、新製品並びに新規事業の仕込み、及び事業化のスピードアップ

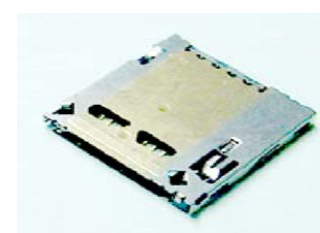
[生産] 生産革新の実践により、桁違い品質を達成



携帯電話用
ライトガイド付コンタクトシート™



車載用
防水タイプ検出スイッチ



携帯機器用
クォータサイズカード用コネクタ

2008年3月期の見通し

■ 磁気デバイス事業

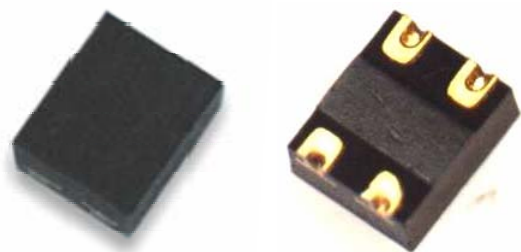
売上高 120億円(計画比 171%)

＜重点戦略＞

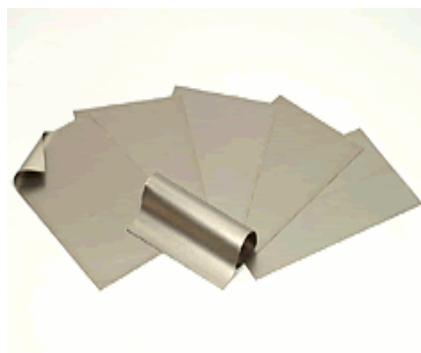
■ 事業構造改革の加速



磁気ヘッド => センサ製品、材料応用製品(リカロイ・圧電等)



高精度磁気センサ



リカロイ™シート



圧電ポンプ

2008年3月期の見通し

■ 情報通信事業

売上高 550億円(計画比 89%)

＜重点戦略＞

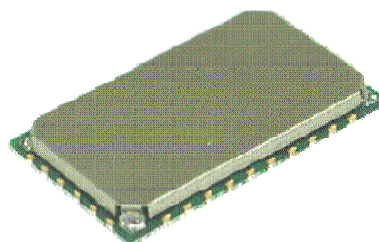
- TV(FPD等)・車載用デジタルチューナのシェアアップ
- 車載用Bluetooth™でグローバルNo.1サプライヤーへ
- 通信・映像市場における光学ビジネスの拡大



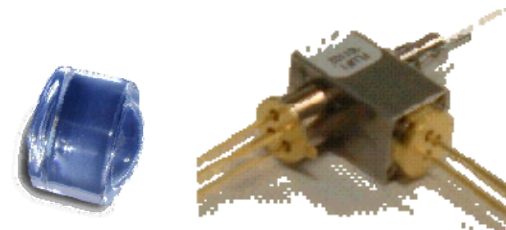
地上デジタル放送用TVチューナ



車載用フルセグチューナモジュール



車載用
Bluetooth™モジュール



光通信用デバイス&モジュール



携帯カメラモジュール

2008年3月期の見通し

■ ペリフェラル事業

売上高 1,010億円(計画比 101%)

＜重点戦略＞

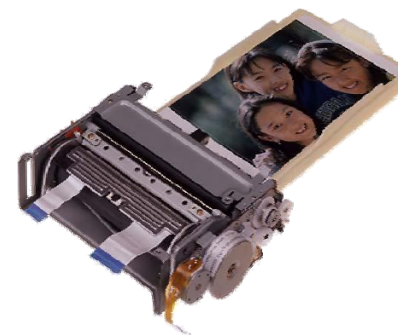
- ゲームコントローラ用モジュール製品の供給
- コア技術に基づくペリフェラル製品の創出
- タッチパネル、入力デバイス、プリンタ・メカニズム等の応用展開



携帯機器用
タッチパネル



PC・携帯機器用
入力デバイス



小形プリンタ
メカニズム

2008年3月期の見通し

■ 車載電装事業

売上高 1,060億円(計画比 106%)

＜重点戦略＞

- 新製品・新技術の継続創出
- DMの徹底活用による、部品・製品完成度の向上
- Global経営効率の向上（拠点の拡充と適地生産の強化）

Automotive SPICE™ レベル3 取得：07年4月、ドアシート操作モジュール等の開発プロジェクトにおいて達成
欧米におけるソフトウェア開発プロセスの標準として認知されており、認証レベル3取得は日系企業で初



ハプティックコマンド®
エアコン操作ユニット
操作スイッチユニット



ドア・シート用操作モジュール
パワーミラースイッチ



パッシブキーレスエントリーシステム
キーレスエントリーシステム

センサの事業展開

SENSORING™



Magnetic
Technology



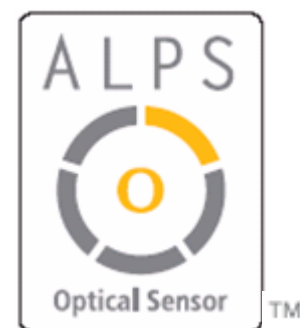
Capacitive
Technology



Piezo
Technology



Resistive
Technology



Optical
Technology



モジュール対応力

センサの事業展開

SENSO RING™



Magnetic
Technology



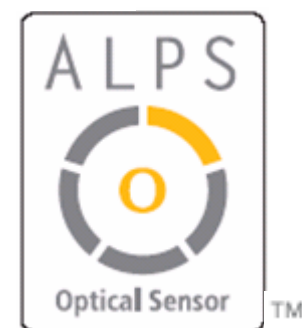
Capacitive
Technology



Piezo
Technology

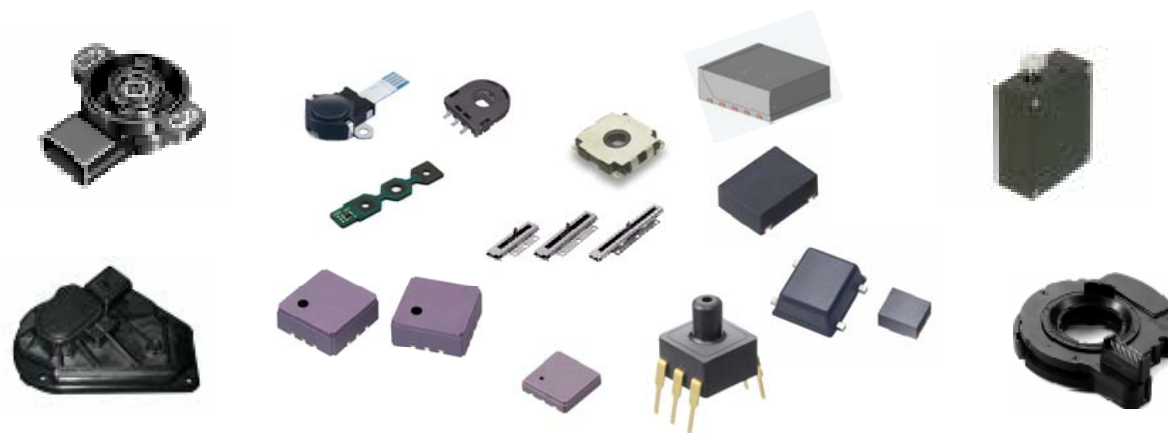


Resistive
Technology

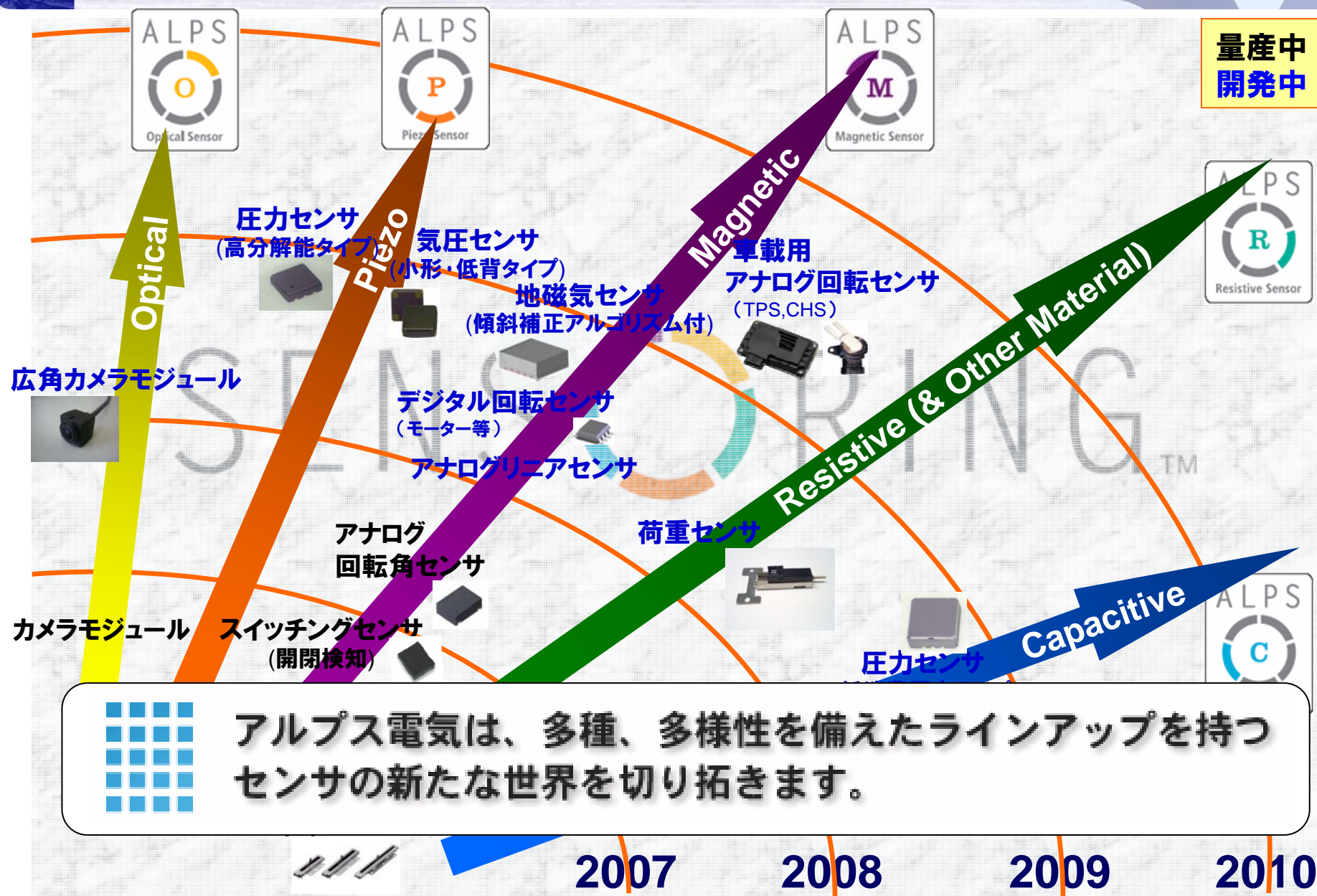


Optical
Technology

センシングデバイスへの展開



今後のセンサ製品展開（開発ロードマップ）



■ 株主への利益配分について

中間配当 1株につき10円を実施

(ご参考:前期中間配当金 10円)

中間含む年間配当金予想 20円

(ご参考:前期年間配当金 20円)

当スライドの予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。よって、見通し・予想を算定するため過去に認識された事実以外に、見通し・予想を行うための仮定等を使用しています。これらの記述については、将来その通りに実現するという保証はありません。また、本資料は会計士監査対象外となっています。

なお、当社のハプティック関連デバイスは、Immersion CorporationのTouchSense™Technologyを使用しており、TouchSense™はImmersion Corporationの登録商標です。

また、本資料中に表記している「Bluetooth™」は、米国Bluetooth SIG, Inc. の、「Automotive SPICE™」は、スウェーデンThe SPICE User Groupの登録商標です。

美しい電子部品を究めます

ALPS®